西村 計雄　「太陽とらん」3号　1983

セリオ便り 三月号

―2021―

皆様お元気でしょう?! 秋田の三月は冬と春の交差点で木の芽時の黄緑色・花芽時の桃色・ご気嫌しだいのなごり雪など…この時期ならい、季節の表情を見せてくれます。コロナ禍もあと少しで越えられそうなところに来たようです。そこで免疫力の話題が沢山目につきますが、免疫細胞はカルシウムからの情報をキャッチ出来なければ働けないので骨粗鬆症やカルシウム不足の高齢者にとっては厳しい闘いとなっているようです。専門家は別として、このメカニズムは以外に知らない?!のではないでしょうか!・カルシウムなら何でもよい訳ではなくカルシウムパラドックスという過剰反応を起こさずに体の正常な代謝を助け骨・筋・質まで改善する月化貝カルシウムに三千年余り支えられ助けられています事を実感しているところです!!

さて、古いのお話しは専門家ではないので当コーナー目にしている所のユーチューブで多く目にしている内容になりますが、どうやら占星術では木星と土星が約20年周期で大接近する現象を「グレートコンジャクション」と呼びその中でも特別な約200年に一度の大きな転換点を迎えたらしいようです。これまでは「地の時代」と言われ形ある物を重んじる物質主義、それに対して昨年十二月位から「風の時代」に移行しているようです。それは形の無いものが意味を持ち今までの常識や価値観が変化していくようですが、それは世界がより本質、より真実、精神性が現われる時代に入ったのだと感じています。風は目には見えないけれど感じる事が出来、風によって見える世界が現われるのですから「風の時代」とは「感性の時代」なのでしょう。世界の争いまでコロナ禍によって変化しているのです。今の現実が明日の未来に光となる日を信じて風に向かい、風に揺られ一歩づつ支えあって行きたいと願っています。春です。ゆっくり動きましょうか。皆様もご自愛の上お過ごしください。感謝を込めて。

敬具

令和三年三月吉日

松本幸子 拝